

事業区分
その他サービス

平成27年度 事務事業評価シート

事務事業名		異業種間交流支援				所管	文化産業観光部 産業振興課			
事務事業の概要	事業の開始・終了年度		[事業開始]	平成	3	年度	[終了予定]	-	年度	
	根拠法令等	その他	[法令等名]	要綱等なし						
	事業対象	①過去助成対象企業 ②区内外の中小事業者								
	事業目的	東京都の「産業交流展」への出展ブースの提供や中小企業間の情報交換会の開催を通して、さまざまな業種間の連携を図り、企業の経営力強化、製品開発の意欲向上や販路の開拓・拡大に繋げていく。								
	事業内容	①東京都産業交流展の出展ブースを提供し、事業者間の交流促進、販路開拓を支援する。 ②ビジネス交流フェスタを開催する。								
	委託の有無	なし	委託内容							
	補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種別	指標の名称	(単位)	目標値 (29年度)	24年度	25年度	26年度			
	活動指標	出店企業・団体数(産業交流展)	件	15	14	14	15			
		参加企業・団体数(ビジネス交流フェスタ)	件	100	101	101	94			
	成果指標	産業交流展商談件数	件	50	51	56	38			
		ビジネス交流フェスタ商談件数	件	50	163	49	86			
	決算額	(単位：千円)				970	969	994		
	事務事業コスト	人にかかるコスト(人件費など)				3,332	3,835	3,826		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				941	939	964		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				30	30	30		
		総経費				4,303	4,804	4,820		
財源項目	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0	0	0			
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				0	53	53			
	一般財源(区負担額)				4,303	4,751	4,767			
前回評価から改善した事項	なし									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	既存の企業間の取引に行き詰まりを感じ、今まで取引のない異業種の企業との交流から、新しい情報や商談を見出そうとしている中小企業は多い。							
	効率性	3	産業交流展は、安価な出展小間料で、比較的多くの来場者がある展示会であり、また、ビジネス交流フェスタについては、経費をほとんどかけていないが、参加企業は、60社をコンスタントにこえ、参加企業には概ね好評である。コストを抑えながら、効率的に異業種交流の展開を図っている。							
	手段の適切性	3	安価で、信頼性が高い交流の場の提供は、公的機関だからこそできる。都や国の事業情報も留意しながら、本区の特性に応じた交流の場の提供はできている。							
	目的達成度	4	商談件数はほぼ目標値に達しているとともに、事業者間の交流促進の一助となっている。							
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)				評価結果	今後の方向性		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了			
異業種間の交流は、自社製品の新たな販路開拓や、企業間の連携による新商品開発など、大きなビジネスチャンスに発展していく可能性がある。従来の手法では、行き詰まりを感じている事業者や、新しい試みを行おうという意欲ある事業者の力をより効果的に活かしていくためには、今後も異業種交流の場の提供を継続して行っていくべきである。					維持					